

教育委員会 8 月定例会会議録

1 日 時 令和 6 年 8 月 1 日 (木) 午後 1 時 30 分開会

2 場 所 三島市役所中央町別館 4 階 第 1 会議室

3 出席者

(委 員) 小塚教育長、竹林委員、飯島委員

(事務局) 鈴木教育推進部長、畠教育総務課長、中村学校教育課長、
沼上生涯学習課長、渡邊図書館長、及川文化財課長、
平林文化財課保存活用係長

(書 記) 諏訪部教育総務課長補佐、風間教育総務課主事

4 傍聴人の人数 1 人

5 会議次第

(1) 開会

(2) 前回会議録の承認

(3) 会議録署名人の決定

(4) 各課の事業報告 (経過・予定の報告)

(5) 教育長の報告

(6) 教育推進部長の報告

(7) 議第 29 号 三島市文化財保存活用地域計画の作成及び文化庁長官への認定申請について

(8) その他

(9) 閉会

6 議 事 (要旨)

(1) 開会 小塚教育長が宣言した。

(2) 前回会議録の承認 前回会議録を承認した。

(3) 会議録署名人の決定 小塚教育長が竹林委員と飯島委員を指名した。

(4) 各課の事業報告 (経過・予定の報告)

各課長が経過報告書及び予定報告書により報告を行った。

(竹林委員)

学校教育課の予定報告にあった8月8日みしまイングリッシュについて、42名の申込があったとのことだが、学年の内訳を伺う。

(中村学校教育課長)

昨年度は中学生までを対象としていたが、今年度は小学生に絞って小学校3年生から6年生までを対象としている。内訳は3年生が14人、4年生が9人、5年生が9人、6年生が10人となっている。

(竹林委員)

これからを担う子どもたちにとっては、外国の方とふれあう機会が多くなるため、この取り組みはとても重要であり益々増えていくと良いと思う。

生涯学習課の経過報告について、8月1日のチャレンジスクールの対象は小学生ということだが、中学生対象の宿泊研修の募集をしていたように記憶しているが、今後の予定に入っていないところを見ると応募者が集まらなかったか。

(沼上生涯学習課長)

募集をしたが応募者が少なく、今回は中止となった。

(竹林委員)

以前は、少年の船で与論島や北海道に行った時期もあったと思うが、今後の展望について伺う。

(沼上生涯学習課長)

指導員と課内で協議し、検討していく。

(竹林委員)

今年は中止になったが、来年度以降は関係各所と相談し開催いただきたい。指導員の方は熱心で、積極的に取り組まれ、継続していきたいという声も多いと聞いている。

(飯島委員)

夏休み中の部活動の練習回数が昔に比べ少なくなっていると感じるため、より多くの生徒が宿泊研修に参加できたらと思う。

生涯学習課の予定報告にあった8月10日のキッズダンス教室について、抽選で受講者を決定したとのことだが、どのくらいの応募があるのか。

(沼上生涯学習課長)

キッズダンスや料理教室はとても人気があり、どこの公民館も応募上限に対し、倍近い応募がある。お住まいの地区に関わらず、どこの公民館を利用しても良い。

(飯島委員)

学校教育課の予定報告にあった学校閉庁日について、8月13日から19日までとのことだが、例年に比べ日数は多いか。

(中村学校教育課長)

ここ数年は5日間が変わりない。当初は2日間であったが年度ごと順次増やしていった状況。今年度は山の日連休も含め、10日間連続で休みがとれる体制にしている。

(竹林委員)

図書館の「絵本のまち三島」については、以前の定例会の中で長く続く事業になると良いと話をしたが、頑張っている印象。「絵本のまち三島」の公式ホームページも開設されており早速閲覧をした。しっかりと更新し続けて欲しいと思う。

(5) 教育長の報告

- 三島市は中国麗水市と友好都市提携を結んでいるが、コロナ禍により中断されていた中学生の訪問団が5年ぶりに再開され、7月14日から17日まで、12人の中学生が来日した。
- 7月16日には、南中学校を会場にして、授業への参加や、一緒に給食を食べるなどして交流を深めた。実際に会話し、それぞれの文化に触れることができるのはオンラインでは味わえないことである。日中交流の素晴らしい一日になった。今年度は、三島市から教員が麗水市を訪問する予定になっている。
- 7月22日に、学校経営研修会をオンラインで開催し、常葉大学准教授太田正義先生を講師にお迎えし、「どう関わる？現代の子どもたち」との演題でご講演いただいた。講演では、現代の子どもたちは様々な体験が不足しているということを踏まえ、具体的な事例を踏まえて、子供とかわる際には、可能な限り、受容してあげることが大切ということをお話された。また、先生の研究結果から、あいさつや、声掛けを増やすことによって、いじめの加害は減少することや、適応指導教室に通室している子どもで、在籍校の教員との関係が良い子供は、適応指導教室の居場所感が高まるとの分析も示された。今後の子どもとのかかわり方について、多くの御示唆を頂戴した。
- 7月27日に、社会を明るくする運動ケース研究会が開催された。このケース研究会は、法務省主唱のもと、社会を明るくする運動のひとつとして、各小・中学校 PTA、保護司、更生保護女性会、主任児童委員等、多くの皆様のご出席により開催され、「犯罪や非行を防止」と「犯罪や非行をしてしまった青少年の立ち直りを支えること」を目標として、事例研究を行うものである。昨今の子どもたちが関係した事例を見てみると、特にネット社会が変化する中で、以前には想像できなかった案件に子どもたちが巻き込まれている。本人が知らず知らずのうちに、予期せぬ事態になってしまったり、その状態から抜け出すことができない状況に追い込まれてしまったりするなどして、犯罪に巻き込まれてしまっているケースも報道されている。子どもたちがこのような犯罪に手を染める事態を食い止めたいと切に思い、非行や犯罪をしてしまった子どもたちの立ち直りに社会総がかりで取り組む、社会を明るくする運動は、大変重要な取組であると思う。今年度は、事例研究に三島南高校の3年生が参加し、高校生の生の声を聞くことができ、充実したものになった。
- 7月28日に、静岡県教育研究会、静岡県教育事業団体、静岡県教育会館の共催による、「教育講演会」が開催された。講師は、中教審「学校における働き方改革特別部会」の委員などを歴任された、妹尾昌俊先生である。妹尾先生は、働き方改革の方向性を、演題である「働きがいがあり、かつ働きやすい学校づくり」ととらえ、軽快で分かりやすい語り口で、あっという間の1時間半の講演であった。今まで、当たり前と思って取り組んでいたことを問い直すこと、管理職は、教職員の健康を守るという意識を強く持つこと、働き方改革は時短だけではなく、意識改革が大事

であることなど、多くのヒントを頂戴できた。働き方改革に係る取り組みとしては、三島市では、夏季休業中の5日間を学校閉庁日とし、週休日を含めて、8月10日から19日まで連休になる。教職員には十分休暇を取り、リフレッシュしていただきたいと思う。

(6) 教育推進部長の報告

ア 関連事業等の報告について

(ア) 令和6年度チャレンジスクールについて説明した。

三島市内在住の小学校4年生から6年生までを対象に、集団生活や自然の中でのさまざまな体験学習と仲間づくりを通して、たくましさと思いやりのある豊かな情操を養い、心身ともに健全な児童の育成を図るために実施。

◎日 程 7月28日(日)～8月1日(木) (箱根の里～南伊豆臨海学園～箱根の里)

◎内 容 班別研修、カッター訓練、シーカヤック体験、海辺レク、キャンプファイヤー等

◎参加者 市内在住の小学校4～6年生の男女 48人(男女半数ずつ)

76人の応募があり抽選により参加者を決定した。

イ 主な関連事業等の予定について

(ア) 令和5年度教育推進部決算審査

◎日 時 8月2日(金) 午後1時～

◎会 場 監査委員室

(イ) 広島市平和祈念式中学生派遣事業

将来の三島市を担う市内の中学生を対象に、戦争の悲惨さや平和の尊さについての認識を新たにし、より一層平和への思いを深めるため、広島市平和祈念式に派遣する。

◎実施日 8月5日(月)・6日(火) ※広島市平和祈念式は8月6日(火)に開催

◎場 所 広島市平和記念公園(広島市中区中島町)

◎参加者 市内中学生8人(各中学校より1人)

(ウ) 広島市平和祈念式中学生派遣事業事後報告会

◎日 時 8月9日(金) 午前10時30分～

◎会 場 市長応接室

◎内 容 参加した感想等を市長に報告

(エ) 平和都市推進事業街頭啓発活動

平和都市推進事業の一環として市民の平和意識の醸成を図るため、終戦記念日の8月15日に市内主要箇所において通行者に啓発物品を配布する活動を実施する。

◎日 時 8月15日(木) 午前11時～正午

◎場 所 本町タワー前、大社町西交差点、三島駅南口駅前広場

◎参加者 市長、副市長、教育長、各部長及び部長級、市議会議員

(オ) みしまサマーイングリッシュ

英語教育の一層の充実を図るために、外国語指導助手（ALT）10名を小中学校へ派遣し、外国語活動や外国語授業の補助に活用している。子どもたちが夏休みにおいても、ALTと英語でコミュニケーションをとったり、グループで英語による活動をしたりする中で、簡単な英語を覚えたり、基礎的な日常英会話を楽しんだりするとともに、異文化に触れる機会とする。今回は5年ぶりの集合形式での開催。

◎日 時 8月8日（木）

第1部 午後1時～2時開講式 ならびに全体活動（自己紹介等）

第2部 午後2時10分～3時 グループ活動（同学年交流）

第3部 午後3時10分～4時 グループ活動（他学年交流）

第4部 午後4時～4時15分 閉講式

◎場 所 三島市民生涯学習センター3階 講義室・市民ギャラリー・多目的ホールほか

◎参加者 参加児童生徒は市内の小学3年生～6年生の約40名

(カ) 親子プログラミング体験教室

プログラミング教育推進のため、レゴマインドストーム EV3を用意し、市内の児童がプログラミング体験を楽しめるように、教育委員会主催でプログラミング体験教室を開催する。

◎日 時 8月23日（金） 第1部 午前10時～11時30分 レゴマインドストームEV3

第2部 午後1時30分～午後3時 Scratch でゲームを作ろう

◎場 所 三島市民生涯学習センター3階 多目的ホール

◎参加者 市内小学3年生～6年生の児童と保護者約40組（第1部20組 第2部20組）

(キ) 第9回三島せせらぎミニミニ水力発電コンテスト

ミニミニ水力発電装置の工作を通じて、発電の原理やメカニズム、自然エネルギーの利用法を学び、創造性を育んでもらうとともに、まちを流れる湧水で電気が作れることを体感してもらうことを目的として、小中学生等を対象に開催。

◎コンテスト（審査）

(1) 日 時 8月11日（日・祝）午後1時～

(2) 会 場 白滝公園及び隣接の桜川

(3) 出品点数 22作品（昨年度7作品）

(4) 審査内容 桜川に一斉に設置された作品を審査員がアイデア、デザイン、LEDの点灯状況、発電状況、エコの観点等審査。

◎表彰式

(1) 日 時 8月25日（日）午前11時～

(2) 会 場 三嶋大社（街中だがしや楽校会場内）

◎主催及び主な構成団体

(1) 主 催 三島せせらぎミニミニ水力発電コンテスト実行委員会

(2) 構成団体 NPO法人地域活性スクランブルフォーラム、三島市少年少女発明クラブ

◎共 催 三島市（環境政策課）

◎これまでの参加した児童・生徒の声

- ・水の流れを利用して効率よく回転させるのが難しかった。
- ・自分自身で考えて作ることをやっていきたい。
- ・LEDが本当に光ったのが楽しかった。
- ・水力発電で一生懸命やったように、他の事も一生懸命取り組んでいきたいと思った。

(ク) 三嶋大祭り

8月15日からの3日間、「三嶋大祭り」を開催。山車、シャギリ、郷土芸能「農兵節」などの伝統文化を中心に、にぎわいの創出や、交流人口の拡大、伝統文化の継承、地域のきずなづくりや連帯感の醸成を図る。

◎日 時 8月15日（木）、16日（金）、17日（土）午後3時～9時

※大通りの交通規制・歩行者天国は午後2時30分～9時まで

◎場 所 三嶋大社、三嶋大社から広小路までの大通りほか

(ケ) 街中だがしや楽校 2024 静岡 in 三嶋大社・ゑびす参道

街中だがしや楽校は、子どもたちがお店の手伝いなどを通じて、働く意欲やお手伝いをする喜びを楽しく学んでもらうことを目的としたイベント。

- ・働いて、ゑびす券を集めると駄菓子と交換可能
- ・第15回記念の特別企画として、〈学び〉サイエンスショー、〈遊び〉アーバンスポーツ〈お手伝い〉ボイスキュー（ラジオツアー・公開放送体験）を実施
- ・東レアローズ静岡の現役選手によるバレーボールの的あてゲームを実施
- ・ブリヂストンサイクルによる「うんこ交通安全ドリル学習」の企画を実施
- ・三島北高校箏曲部によるお箏の演奏や体験演奏も開催

◎日 時 8月25日（日）午前10時～午後3時 ※開会式 9時45分

◎場 所 三嶋大社境内及びゑびす参道周辺（歩行者天国）

◎内 容

【三嶋大社境内】

ワークショップ&遊びゾーン、はたらく車大集合、だがしやマーケット、ミニコンサート、アーバンスポーツなど

【ゑびす参道周辺】

出店ゾーン（チビッコあきんど体験）、キッズハローワーク（お仕事紹介所）、ボイスキュー（ラジオツアー・公開放送体験）

【大社町別館】

サイエンスショー

◎主 催 街中だがしや楽校運営協議会

(7) 議第 29 号 三島市文化財保存活用地域計画の作成及び文化庁長官への認定申請について
及川文化財課長から、説明があった。

※原案承認

(竹林委員)

文化財保存活用地域計画を提出し承認を受けると、国の財政支援が受けられるということか。

(及川文化財課長)

補助率が加算されると聞いている。

(竹林委員)

国の予算がつくことによって、文化財の保存と活用という意味では、三島市として取り組むことが増え、充実していくという考えで良いか。

(及川文化財課長)

今後、この計画に沿って順次進めていく予定である。

(竹林委員)

この認定は、教育委員会の承認を得ないと申請ができないのか。

(及川文化財課長)

その通りである。

(竹林委員)

向山の 16 号墳の調査が進んでいない状況であるが、今回の申請が通ると調査が早まるか。

(及川文化財課長)

今年調査をする予定で、事実を明らかにし、令和 9 年度に国の指定文化財に具申できるように準備を進めている。内容が伴わないと認められないため、こちらの調査や手段による。

(竹林委員)

三島市には多くの文化財があり、16 号墳の価値が高まれば、更に全国的にアピールできる文化財が増えると感じる。

その他に三島溶岩流は文化財になるか。

(及川文化財課長)

文化財にあたる。愛染院の溶岩流が市の指定天然記念物になっている。

(竹林委員)

三島市は歴史的な文化財だけではなく、楽寿園も含め自然物の文化財も豊富にあるということか。

(及川文化財課長)

楽寿園にある富士山の雪解け水と自然林を生かした庭園は国の天然記念物及び名称に指定されている。

(竹林委員)

文化財の保存も重要だが、三島市のことを考えると活用も重要になるため、豊富にある文化財を有効に利用し充実させることが、三島市の発展につながっていく。

小中学校では様々な形で三島市の事を学ぶ機会はあるが、今回の申請をきっかけに子どもたちにアピールできるものが増え、郷土愛が高まり、市民として成長すればとてもプラスになる。

湧水や三嶋大社、三島宿、旧東海道の石畳等良いものが多いため、関係各所とタイアップしていけば全国から多くの方が訪れるのではないかと。郷土愛を深めるということと観光産業を中心として、三島市の発展に役立てて欲しい。

(飯島委員)

文化的で魅力的なコンテンツがたくさんあると知り、改めて誇りに思った。

土曜・日曜は外国人を含め観光客でバスが満車になるため、そういった方に箱根の道を歩いただけだと良いと思う。

昨年行われたワークショップに14名参加したとのことだが、写真を拝見する限り、参加者の年齢層が高そうに見受けられる。どのような方が出られたのか。

(平林文化財課保存活用係長)

男女の割合は半々で、年齢層としては50代60代以降の方が多く、ほとんどの方がふるさとガイドの会等の文化財やまちづくりの活動に参加されている方、古文書を読まれている方で、市の文化財の魅力を高めるために参加いただいた。

(飯島委員)

参加者の知恵を借りながら良い計画ができている。

錦田中学校生徒による松並木の清掃活動も素晴らしい仕組みづくりで、10年20年と繋がり、体験した当時の子どもたちが子育て世代に入っている。小中学生に三島の文化財を意識させ素地ができていると思う。

(鈴木教育推進部長)

文化財の「保存」と「活用」は相反する命題であり、保存しようとするのと活用するのを控えないと。活用しようとするのと保存が疎かになる。何のために保存するのかと考えると、先人たちの知恵や創意工夫により築かれたもの或いは自然によって育まれた、生まれながらの郷土を後世の方に伝えていかなければならないということになる。相反するが後世に伝えていくためにどうするかを考えたのが今回の計画になる。今まで文化財的には保存に重きを置いていたが、何が教育に大切なものとして引き継がれてきたのかというところを伝えていく必要がある。三島にとって郷土愛を醸成しつつ、先人たちの取り組みを伝えられるような活用を目指し、今回の申請が文化庁に認められた際には、そこがスタートとなり様々な事に取り組んでいけたらと思う。

(小塚教育長)

文化庁で認定された場合には、様々な形で活用できると思う。

社会総がかりの教育を求められており、様々な分野から子どもたちに三島を好きになってもらうことが教職員の願いである。色々な方に目を通してもらい活用してもらいたい。

(8) その他

次回日程について

(諏訪部教育総務課長補佐)

次回の9月定例会は、9月3日(火)の午後1時30分から中央町別館第1会議室にて開催予定。

(9) 閉会 午後2時39分

上記のとおり会議録を承認する。

令和6年9月3日

署名人 竹林 重行

署名人 飯島 映